

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	緩和ケア・がん看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	新館2階3階
担 当 教 員	夜久 泰子	実務経験と その関連資格	看護師 大阪市立病院等で23年勤務			
《科目目標》						
終末期にある対象の全人的苦痛を緩和するための援助を考え、模擬実践できる。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】授業態度(10%)、討論参加状況(10%)、発表内容(30%)、試験(50%)						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア 宮下 光令編、株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害、明石恵子 編、株式会社メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 安酸 史子・鈴木 純恵・吉田 澄恵著 株式会社メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
配布した事例については、病態や治療看護に至るまで事前学習をして、看護計画とともに事前学習として提出する						
《履修に当たっての留意点》						
事例に関して日常生活の援助、コミュニケーション、疼痛緩和への援所などの看護援助が提案できるように、これまでの基礎看護技術・解剖生理学・病態生理学などの知識を駆使したシミュレーション学習を目指す						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 肝臓疾患(非代償期)の患者の理解	講義資料 教科書	肝臓がんの病態・治療・ 検査・看護についてまと める	
		各コマにおける授業予定	肝臓疾患(非代償期)の症状に関する知識 緩和ケア 全人的苦痛とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例の患者の状況について理解できる	講義資料 教科書	事例の対象に対しての 情報を整理	
		各コマにおける授業予定	情報整理とアセスメントをする			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例の看護計画を立てる	講義資料 教科書	関連図と看護計画まで の記録全てを完成	
		各コマにおける授業予定	関連図から看護上の問題を明らかにする			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	看護計画をもとに演習準備をする	講義資料 教科書 GW		
		各コマにおける授業予定	シミュレーション学習の準備			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	看護計画をもとに演習を行う	講義資料 教科書		
		各コマにおける授業予定	シミュレーション学習を行う			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護計画をもとに演習を行う	講義資料 教科書 GW	
		各コマにおける授業予定	シミュレーション学習を行う		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	演習 振り返り(グループワーク)	講義資料 教科書	発表準備
		各コマにおける授業予定	非代償期の患者の苦痛の緩和について振り返りを行う		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	非代償期にある患者の苦痛・その緩和について4側面からとらえ、演習した内容とその振り返りを発表する	講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定	QWでまとめた内容を発表		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標		講義資料 教科書	
		各コマにおける授業予定			